



lyocity

2月号



# ほけんだより

令和7年2月 病児・病後児保育室「いよっこすまいる」

2月3日は、暦の上では立春で春を迎える時期とされていますが、1月下旬から2月にかけて最も寒くなると言われています。感染症もまだまだ流行っているので、手洗い・うがいをしっかり行い、予防に努めたいですね。

## 「いよっこすまいる」ご利用について

※登録はお済みですか？（ご利用時の前日までに登録が必要です）

※令和7年度からの事前登録を3月1日（土）～開始します。

詳しくは、広報いよし3月号をご覧ください。

- ① かかりつけ医を受診し、医師連絡票を準備（前日もしくは当日の物）
- ② 「すまいる」に予約を入れましょう。

※病気の流行により、連絡が取りにくかったりキャンセル待ちになったりすることもあります。ご了承下さい。

※分からないことがあれば、  
「いよっこすまいる」にご連絡下さい。  
(089) 982-0406



こんな病気に注意！

**インフルエンザ**

**新型コロナウイルス感染症**

**嘔吐下痢症**

など

## 寒いとおしっこが近い

寒くなるとトイレの回数が増えます。人間は体の中にある水分を同じ量に保つために、普段から汗とおしっこで調節していますが、冬場は汗をかかなくなるので、体の中にある余分な水分を出すために、おしっこの量が増えるのです。出かけるときは、トイレの場所を確認しておくで安心ですね。



## インフルエンザ脳症

インフルエンザの合併症の一つで、主に5歳以下のこどもに発症します。発症から比較的早い時期に、けいれんを起こす、呼びかけても反応しないなどの意識障害の他に、急に怒ったり、怯えたり、うわごとを言うなどの言動が見られることもあります。このような症状が出たらすぐに医療機関を受診してください。

## けいれんが起きたら

まず衣服をゆるめ、嘔吐物をのどに詰まらせないように顔や体を横向きにして寝かせます。

### チェック

- けいれんの時間
- 普段通りに名前を呼び反応があるか
- 目はどちらを向いていたか
- けいれんは全身か、体の片側か、体の一部か



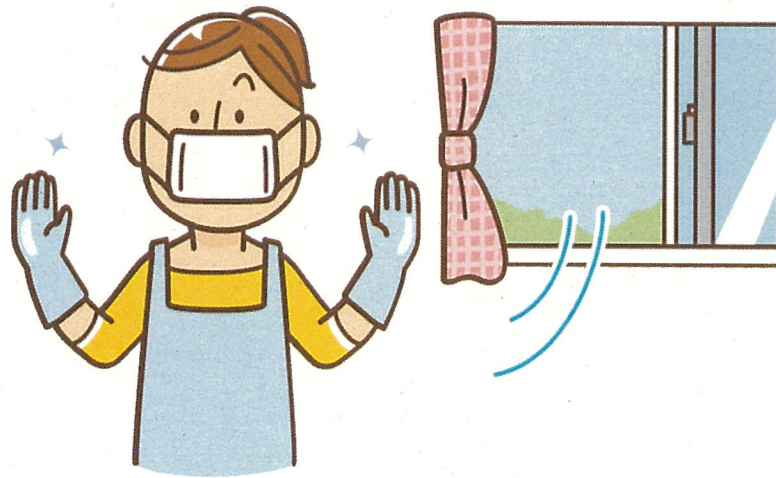
診察の手助けになるので、慌てずに様子を見ましょう。





## 嘔吐物の処理方法

嘔吐物（おうとぶつ）は、二次感染を防ぐために速やかな処理が必要です。まずは窓を開けて換気を行い、ゴム手袋やマスクで体を覆って嘔吐物に直接触れないようにしましょう。



### 用意する物

- 使い捨て手袋
- 使い捨てマスク
- バケツ
- 雑巾
- 新聞紙
- ビニール袋
- 消毒液（塩素系漂白剤など）
- 使い捨てエプロン（あれば）

### 手順

- ① 手袋（できればひじまで隠れるもの）をして、捨ててもよい布や紙で拭き取ります。
- ② 拭き取った物はビニール袋へ入れて、外へ漏れ出ないようにして捨てます。
- ③ 汚れた床は、消毒液（漂白剤等）などを薄めて拭きます。
- ④ 処理の後は十分な換気を行きましょう。

### 嘔吐物の付いた衣類の洗い方

消毒液を薄めて、衣類を2時間程漬け置きした後、洗濯をします。他の衣類とは一緒に洗わないようにしましょう。

